



由利中学校 学校便り  
平成三十年七月五日(木)  
発行者 校長

# 「防犯教室」実施 \* SNSの正しい利用

本リーフレットは小学生の保護者、中学生・高校生及びその保護者に見ていただくことを想定しています。

## ネットには危険もいっぱい

2018年版  
警察庁  
文部科学省

**△ 他人事だと思ってない？**  
SNSを通じて犯罪被害に遭った子供が増えており、平成29年は過去最多です。特に夏休みは、様々なトラブルに巻き込まれないよう、しっかりと考えて行動しましょう！

**△ 平成29年に検挙した実際の事例**

<p><b>事例1 優しい人だと思って安心したら...</b></p> <p>SNSで知り合っただけの人と、顔を見れば「悪者」だと思えば、「迎えに行つてあげるよ」などと誘われて、犯人に連れまわされる被害に遭ってしまいました。</p> <p>① 誘拐や殺人事件などの重大な犯罪に巻き込まれてしまうケースもあります。</p>	<p><b>事例2 お金欲しさに軽い気持ちで...</b></p> <p>お金が欲しくてSNSで知り合った人と会い、「俺の後ろにはヤクザがいる」などと脅されて性被害を受けてしまった。さらに、その様子を動画に撮られネットで流されてしまった。</p> <p>① 男子にも同様の被害に遭った子供もいます。</p>
<p><b>事例3 自撮り画像を送信してしまい...</b></p> <p>「タグでLINEスタンプをあげる」という人がいたので、自分の写真を送って「おもしろい」と言われた。すると、知らない人から「私を断つたところ、ひどい目にあった」などと脅して不安にさせられる写真を送られてしまった。</p> <p>① 100人以上の子供が裸の写真などを送られてしまいました。</p>	<p><b>事例4 気がついたら自分が加害者に...</b></p> <p>SNSで同級生から女子生徒の裸の動画が送られてきたので、深く考えずにその動画をほかの同級生にSNSで送信してしまいました。</p> <p>① 人からもらった裸の動画や画像を転送するだけでも犯罪になります。(※) 児童買春・児童ポルノ禁止法(3年以下の懲役又は300万円以下の罰金)</p>

七月四日(水)の四校時に、「防犯教室」を実施しました。今回は、ネットによる犯罪について理解してもらうために、全校生徒対象に、本庄警察署の少年課の〇〇さんを講師に招いて行いました。実話を元に製作されたDVDの視聴と平成二十九年度に検

挙された実際の事例を元に講話していただきました。現在、最も杞憂されているのが、ツイッターだそうですね。子どもは、常識が無いのが当たり前で、常識の無いところを大人が狙っているのです。大概が軽い気持ちでSNSを利用し

ています。SNSで同級生から女子生徒の裸の動画が送られてきたので、深く考えもせずその動画を他の同級生に送信にて、検挙・補導されたケースが起こっています。児童買春・児童ポルノ禁止法違反では、三年以下の懲役または三百万円以下の罰金となります。子ども達は、少年法で守られています。犯罪行為については保護者の責任が問わ

れることとなります。昨年SN Aで被害にあった児童生徒は一千八百十三人に登り半数以上が高校生ですが、中学生も約40%近くを占めています。「自分の子に限って」と考えてしまいがちですが、畏は巧妙です。自分の子どもを守る為にも、家族の会話を多くして、少しでも様子が変だなど思ったら学校や警察に相談して下さい。



本庄警察署 納谷さん

## 由利小・中授業実践交流会

六月二十九日(金)に本校を会場にして、小中授業実践交流会が行われました。一年生の英語の授業を公開して、その後、協議会を行いました。由利中ブロック学力向上推進委員会という組織があります。小中連携して由利地域の学力の向上について研究する組織です。



研究テーマは、「授業改善を推進し、個に応じた確かな学力の形成」で「9年間を見通した実践的な小・中連携」というサブテーマをたてています。

2 共通実践事項は、  
(一)指導方法の工夫改善による「学力向上」と「家庭学習」の充実

①「学習課題」の提示の工夫  
②「個に応じた指導」の工夫と充実(SYEN)の活用)

③「学び合い」・「高め合う」場の設定と「ふり返り」の工夫と充実

④「家庭学習」の取組と質の向上(学習スキル表配付)

(二)小・中連携による「英語教育」の充実

①「英語教育強化地域拠点事業」による共同研究の推進

②「授業実践交流会」などによる小中教員間の交流の場の充実

## 私はメタセコイア (由利中昔話)



平成5年からはに  
由利中の駅伝後  
男子5連覇アベック優勝2回という記録を残しています。以前は、石沢スタートで本荘市役所ゴールと

いうコースで比較的走りやすいコースでした。(後、西目小スタート、ゴールの周回コース、更に西目サッカー場前スタート・ゴールの現在のコースに変更)

平成5年の大会では、優勝はしたものの、区間賞は〇〇君だけでした。ところが、2位には2分以上の大差での優勝でした。区間賞が1人だけで分かるようにタレントが揃っていたわけではありません。全員の力での優勝でした。駅伝練習は、1時間と決めていましたが、毎日の練習は本当にきついものです。世の中にはとんでもない才能を持った人がいて、いくら頑張っても、その人にはかないません。しかし、駅伝は、6人(女子5人)の力の結集です。タレントがいなくても総合力で勝てる競技だと思えます。鮎瀬までロングランしたり、由利小裏の神社まで坂道ダッシュしたり、グラウンドでのインターバルは本当に辛い練習でした。ところが、走れば走るほど記録が伸びていきます。持久力は備わったものではありません。持久力は付けてもらうことはできませんが、確実に、自分で付けられます。当時の選手達は、今でも練習がきつかったと話しますが、彼らの大いなるキャリアになっている事は確かです。

③ 児童・生徒の「授業交流」の充実(英語科)  
④ 「小・中合同英語暗唱弁論大会」の実施  
(三)9年間のスパンに立った「キャリア教育」の推進  
①小・中児童生徒交流事業の推進(総合的な学習「発表会」)  
②キャリア教育の観点に立った「自己評価」の工夫

(四)「生徒指導」の充実  
①「基本的生活習慣」の確立  
②「返事・あいさつ・後始末」  
③「返事・あいさつ・無言清掃」  
④「小中合同あいさつ運動」の実施  
⑤「生徒指導の三機能」を生かした学級経営、児童・生徒の「よさ」を見つけ、称揚し、意欲の喚起を図る。

小学校の先生方は、この三ヶ月の子ども達の成長に目を細めていました。今後、小中連携して学力向上を進めて参りますが、中学校として小学校に学ぶべき事は学びながら計画にそって実践していきます。